

2023 年度圧力真空クラブ研究会開催のご案内

NMIJ 計測クラブ 圧力真空クラブ長 梶川宏明

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。会員の皆様には、日頃より NMIJ 計測クラブの一つである圧力真空クラブの諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

圧力真空クラブでは、圧力、真空、リークの計量・計測技術に関わる最新の話題について、最前線で活躍されている方々を講師としてお招きし、会員と NMIJ との技術交流を目的とした研究会を開催しております。

近年、産総研では社会課題の解決に向けて、技術領域の枠を超えて一丸となった取組を進めています。地球環境問題・エネルギー問題の解決に向けた国内外の連携拠点として、「ゼロエミッション国際共同研究センター(GZR)」が設立されました。今回の講演会では、GZR で進めている水素社会実現に向けた取組みと、水素流量、気体圧力の計測の信頼性確保に向けた取り組みを中心にご紹介いたします。

今年度も現地参加とオンラインのハイブリッド開催ですが、現地会場では、ラボツアーと懇親会を兼ねたグループ員のポスター発表の場を設けます。

圧力、真空、リークの技術に関わるさまざまな立場の方々の交流の場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。

日時: 2024 年 3 月 8 日(金)

講演会 13:00-15:15

研究室見学 15:15-16:00, ポスター発表(懇親会) 16:00-17:00 (現地参加のみ)

会場: 産業技術総合研究所つくばセンター中央事業所 3-1 棟 6 階 第 3 会議室

及びオンライン(Microsoft Teams)

現地参加の場合の交通アクセス:

https://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba_map_c.html

参加費: 無料

講演会プログラム <質疑応答>:

13:00-13:05 開会の挨拶 及び 圧力真空標準研究グループの活動紹介

産業技術総合研究所 圧力真空標準研究グループ 梶川宏明

13:05-13:45 水素に関する技術動向と産業技術総合研究所における取組み(仮)

産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター 高木英行

13:45-14:25 水素供給インフラにおける信頼性確保に向けた流量計測技術開発

産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 森岡敏博

休憩(10分)

14:35-14:50 気体高圧力計測のトレーサビリティ体系の確立に向けて(仮)

産業技術総合研究所 圧力真空標準研究グループ 飯泉英昭

14:50-15:10 クラブ会員企業からの話題提供

長野計器(株)、マキシメーター・フルード・テクノロジーズ(株)

15:10-15:15 閉会の挨拶

ポスター発表(懇親会) 16:00-17:00

- 光学式圧力標準のための2ガス法によるフエブリ・ペロ共振器の変形係数計測
○武井良憲、寺田聡一(長さ標準研究グループ)、吉田 肇、尾藤洋一(工学計測標準研究部門)
- インフラサウンド観測のための動的圧力評価装置の基礎的特性
○高原大地、飯泉英昭、梶川宏明
- MEMS 気圧センサモジュールの特性評価
○小島桃子
- 気体高圧力標準の多国間比較に向けた準備
○飯泉英昭、梶川宏明
- 高圧用液体分離装置の特性評価
○梶川宏明、飯泉英昭、村本智也(気体流量標準研究グループ)
- スニッフ法による漏れ試験における周囲の風の影響
○新井健太

参加申し込み方法:

Formsにてお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/sDZ7LZaNX8>

現地参加をご希望の方は、2024年2月26日までにお申し込みください。

オンライン参加をご希望の方は、2024年3月1日までにお申し込みください。

(現地参加につきましては、申し込み状況により、一社あたりの人数を調整させて頂く場合があります。)

問合せ先:NMIJ 圧力真空クラブ事務局

国立研究開発法人産業技術総合研究所

計量標準総合センター

工学計測標準研究部門 圧力真空標準研究グループ

e-mail: pres-vac_club_sec-ml@aist.go.jp



講演会会場の案内図(現地参加の場合)

以上